

令和8年（2026年）4月



横須賀市立田浦中学校

第1学年

家庭学習のしおり

年間指導計画



保護者の皆様へ

〇はじめに

田浦中学校では、学校教育目標を次の通り掲げ、日々の教育活動を行っています。

学校教育目標 “たくましく、心豊かに”

～自他共栄のため 考え、判断し、行動する～

粘り強く取り組むことができる生徒＝「たくましく」

他者を思いやり共感できる生徒＝「心豊かに」

社会の一員として考え、判断し、行動できる生徒＝「自他共栄」

学校での学びにおいて、各教科での様々な学習活動が行われていますが、こと学力に関しては学校だけの勉強で一朝一夕に身につくものではありません。帰宅後の家庭学習等も含め、日々の積み重ねが時間をかけて少しずつお子さまの力を育てていくものと理解しています。

本冊子では、お子さまのご家庭での学習習慣づくりのために、保護者の方をはじめ、周囲の方々がどのように関わればよいかをまとめたものです。家庭で取り組める学習内容や学習時間の目安のほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめました。

家庭での学習習慣の形成のために役立てていただき、家庭でのお子さまへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

1年生

《 目指したい学習習慣 》

～小学生で培った習慣を基に、自分に合う学習習慣を見つけ、取り組む～

✎家庭学習時間のめやす：70分

○この時期の特徴

中学1年生は、いわゆる「思春期」と言われる時期に本格的に入っていきます。環境の変化もあり、心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。また、家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在しています。

○家庭で大切にしていきたいこと

①予習と復習を習慣づけさせましょう

事前に自分で調べたり考えたりして授業に臨ませましょう。また、学んだ日に、教科書やノート等を使って学習のポイントを整理させましょう。

②学校のプリントを有効に活用させましょう

学校の授業等で使うプリントは、学習のポイントが整理されています。プリントを有効に活用するようアドバイスをしましょう。

③振り返ることを大切にさせましょう

心身ともに急速に成長する時期です。小さな変化を見逃さず、子どもの成長を認め、実際に伝えるようにしましょう。

○生徒へのワンポイントアドバイス（全科目授業で学んだことを振り返りましょう！）

【国語】

内容を意識して教科書の音読を行ったり、漢字や語句について意味や使い方の確認を行ったりするとよいでしょう。

【社会】

「①教科書の音読、②問題集を解く、③授業内容を家族に話す・説明する」です。特に③は家族との対話を通して学習内容の記憶を再生し強化できます。

【数学】

①教科書・ノートを見返す、②問題集を解く、③わかる問題を増やすが理想です。わからないところもはっきりとさせることが大切です。次の日に自分の言葉でわかったこと、わからなかったことを伝えられると良いと思います。

【理科】

具体的には、『①ノートや教科書を読みかえす、②ワークなどを使って問題を解く、③観察や実験の結果や結果からわかることを短くまとめる』の3つをするとよいです。

【英語】

やればやるだけ知識が身につく、知識が身につけば自信が身につきます。英単語や文法を何度も復習しましょう。書いて、読んで、聞いて、声に出して、自分でペースを決めて計画的に覚えましょう。

家庭学習を習慣化させるためのポイント

1. 生活のリズムを整える

規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。あたりまえのことですが、早寝・早起きをする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、スマホなどの時間をきちんと決めましょう。

2. 読書をする時間を増やす

読書は子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、毎日子どもが読書をする時間をつくりましょう。また、地域の図書館に行き、本と出会う機会をつくりましょう。

3. 努力を認め励ます

一つのことには継続して取り組む、やや難しいことに挑戦する、そしてあきらめずにやり抜くことを経験させましょう。子どもの学習に目を向け、必要な声かけや点検を行い、粘り強い努力を本気で褒めましょう。

4. 勉強しやすい環境をつくる

家族で過ごす時間を大事にし、子どもの話を定期的に聞きましょう。

ニュースなどで、興味のある内容だけでなく、様々な内容を話題に取り上げて、社会への関心を広げましょう。

保護者の方へ

～お子さまとこんなことができますか？チェック表～

- 子どもの夢や憧れについて知っている。
- 子どもの交友関係を知っている。
- 子どものクラス、担任・副担任の先生の名前を知っている。
- 子どもの登校・下校の時刻を知っている。
- 子どもの部活動の大会や学校の行事等を見に行ったことがある。
- 1週間に1回以上子どもを誉めている
- 子どもが今持っているお金の金額を知っている。
- 一日1回以上、子どもと一緒に食事をとっている。
- 子どもと、自分の生き方や仕事について語ったり話し合ったりしたことがある。
- 子どもの将来について話し合ったことがある。

2026年度・第1学年 国語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：宮崎 文

教科の到達目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1. 学びをひらく(スピーチ・物語他)	・漢字小テスト ・各単元後に授業で取り組む課題 ・文法小テスト ・原稿用紙の使い方	・授業プリントやノートの記述 ・振り返りシートの記述 ・スピーチ(原稿と発表) ・説明文の記述内容	・振り返りシート(自己評価) ・提出物
		2. 新しい視点で(説明・情報)			
		3. 言葉に立ち止まる(文法・詩)			
4. 情報×SDGs					
5. いつも本はそばに(読書)					
期		定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし
	夏休み	既習事項の確認	漢字ノート 夏休みの自由課題	なし	読書記録 夏休みの課題(自由課題)
後期	課業期間	1. 心の動き(小説・聞く)	・漢字小テスト ・各単元後に授業で取り組む課題 ・文法小テスト ・歴史的仮名遣い ・古典作品の朗読 ・楷書と行書の特徴	・授業プリントやノートの記述 ・振り返りシートの記述 ・意見文の記述内容 ・書写作品	・振り返りシート(自己評価) ・提出物
		2. 筋道を立てて(記録・意見文)			
		3. いにしへの心にふれる(古文・漢文)			
4. 価値を見いだす(意見・話し合い)					
5. 自分を見つめる(小説・随筆)					
期		定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	なし
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- ・話し合い、話す、聞く(言語活動)すべての教科
- ・お礼状の書き方(総合的な学習)
- ・古文漢文(社会歴史)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・漢字ノートでテスト勉強
- ・毎週金曜日に見開き1ページの漢字小テストを行います。

家庭での学習への取り組み方について

1. 教科書でやっている単元を音読する。
2. 語彙を増やすためにぜひ、読書に挑戦してみてください。
3. まずは5分から始めてみましょう。
4. 意味の分からない言葉に出会ったら、調べて書き留めてみましょう。見ただけでは覚えられません。

2026年度・第1学年 社会科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：清田 直紀

教科の到達目標	(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚などを深める。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.世界の地域構成	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション
		2.日本の地域構成			
		3.世界各地の人々の生活と環境			
		4.世界の諸地域 アジア・アフリカ			
		5.世界の諸地域 南北アメリカ			
		世界の諸地域 アフリカ・オセアニア			
	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の踏まえた評価	
夏休み	なし	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.私たちと歴史・身近な地域の歴史	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション	・提出物(レポートなど) ・ノートなどの記述 ・小テスト ・対話、話し合いへの参画 ・プレゼンテーション
		2.古代までの日本①			
		3.古代までの日本②			
		4.中世の日本①			
		5.中世の日本②			
		6.中世の日本③			
	後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の踏まえた評価	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの)：
 国語：対話・話し合い、プレゼンテーションづくり(言語活動)、歴史人物が残した短歌や文学作品への理解
 数学：グラフ・表の読み取り技能
 理科・技術家庭科：地域や気候に応じた生活(衣食住)
 美術：世界・日本の代表的な芸術作品への興味や理解

授業前の取り組み(ベル学習)：
 地名探し、PCを活用したクイズ、年表クイズ、問題集の一問一答、問題集をチェック式で解くなど

家庭での学習への取り組み方について
 1. 授業内容について保護者や家族に話し、対話を通して復習したり、発展的に考えたりする
 2. 社会科に関連するニュースにふれる(TV、WEB、新聞など)
 3. 教科書の音読、黙読
 4. 問題集を解く
 5. 教育系WEBページを活用した自主的な学習(ドリル形式のものや動画視聴など)

2026年度・第1学年 数学科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭： 大津 翔

教科の到達目標	<p>(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。</p>
----------------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.整数の性質	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2.正負の数			
		3.文字と式			
		4.方程式			
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集	
後期	課業期間	1.比例と反比例	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)	・小テスト ・提出物 (問題集・テスト振り返り・ レポートなど)	・提出物 (問題集・テスト振り返り ・レポートなど)
		2.平面図形			
		3.空間図形			
		4.データの分析と活用			
	定期テスト(期末)	基礎的・応用的な内容の 確認	基礎的・応用的な内容の 確認	なし	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	問題集	

横断的学習(主なもの):
 「正負の数」→社会 時差
 「比例と反比例」→理科 速さ 電流
 「データの活用と分析」→社会 各種の統計資料 など多くの場面が考えられます

授業前の取り組み(ベル学習):
 ・前回の学習内容の確認
 ・問題集に取り組む

家庭での学習への取り組み方について

1. まず、教科書の例題が理解できているか確認しましょう
2. 用語や記号の意味や基本的な作業が身についているか確認しましょう
3. ここまでできていたら基本的な問題を多く解いてみましょう
4. うまくいかない場合は原因を見つけて対策しましょう
5. さらに難易度を高めてチャレンジしてみましょう
6. 身の回りのさまざまな「もの」と数学の学習内容の関連に目を向けてみましょう

2026年度・第1学年 理科科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：風神 明日香

教科の到達目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.生物の観察と分類のしかた	・小テスト ・授業プリントの記述内容(観察・実験に関するもの) ・課題への取り組み(分類の技能、実験技能、観察技能)	・小テスト ・授業プリントの記述内容(観察・実験に関するもの) ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容	・提出物 ・プリントの記述内容 ・授業の振り返り記述内容 ・テスト反省 ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容
		2.植物の分類			
		3.動物の分類			
		4.身のまわりの物質とその性質			
		5.気体の性質			
		6.水溶液の性質			
	前期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	自由研究レポート	
後期	課業期間	1.物質の姿と状態変化	・小テスト ・授業プリントの記述内容(観察・実験に関するもの) ・課題への取り組み(分類の技能、実験技能、観察技能)	・小テスト ・授業プリントの記述内容(観察・実験に関するもの) ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容	・提出物 ・プリントの記述内容 ・授業の振り返り記述内容 ・テスト反省 ・課題解決のための取り組み ・班やグループでの話し合いにおける発言内容
		2.光、音の世界			
		3.力の世界			
		4.火をふく大地			
		5.動き続ける大地			
		6.地層から読みとる大地の変化			
	後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	「知識・技能」、「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた評価	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):
 ・「植物の生活と種類」→3年技術家庭科「栽培」
 ・「身近な物理現象」→1年数学「比例・反比例」

授業前の取り組み(ベル学習):
 ・前回のプリントを見返すなど前回の復習
 ・問題集に取り組む
 ・資料集を見る

家庭での学習への取り組み方について
 1. 授業の振り返りを行い、理解を深めましょう。特に実験や観察については目的・結果・そこからわかること(考察)・結論が簡単に説明できるようにしておきましょう。
 2. その日の範囲の問題演習(ワーク)に取り組みましょう。ただし、ワークの解き方には決まりがありますので、これに沿って行ってください。
 ① 別冊のノートに問題を解く。わからない問題は空欄にしておく。
 ② 赤ペンで○付けをする。
 ③ 間違えた問題、空欄にしてしまった問題は、赤で答えを書き込む。
 ④ 間違えたところや分からなかったところだけ別のノートにもう一度解く。
 ※②～④を繰り返して、分からないところなくなるまで、粘り強く続けましょう!

2026年度・第1学年 英語科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：橘 俊二

教科の到達目標
 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.小学校の復習	単元テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(原稿)自分自身について英語を正確に用いて書いている。	単元テスト リスニングテスト コミュニケーション活動 CAテストの取り組み：(表現ややり取り)自分自身について英語を用いて伝えている。	ふり返しシートの記述 単元テスト ノート作り コミュニケーション活動 CAテストの取り組み：聞き手、話し手に配慮して英語を用いて伝えようとしている。
		2.be動詞と一般動詞			
		3.疑問詞			
		4.前置詞・名詞			
		前期テスト			
	夏休み	なし	なし	なし	ワークブック ノート作り
後期	課業期間	1.三人称単数現在形	単元テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(原稿)音声・語彙・表現・文法・言語の働きを理解し、コミュニケーションを取ることができている。	単元テスト リスニングテスト CAテストの取り組み：(表現ややり取り)既習事項を活かして、情報を捉え、自分の考えや気持ちを表現できている。	ふり返しシートの記述 単元テスト ノート作り CAテストの取り組み：聞き手、話し手に配慮して英語を用いて伝えようとしている。
		2.人称代名詞			
		3.現在進行形			
		4.過去形			
		5.過去進行形			
	後期テスト	基礎的・応用的な内容の確認	基礎的・応用的な内容の確認	定期テストのふり返し ノート作り	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの)：

- ・洋楽(音楽)
- ・日本、社会の文化(社会)

授業前の取り組み(ベル学習)：

- ・ワークブックの問題に取り組む
- ・単元テストに向けた復習

家庭での学習への取り組み方について

- 教科書の新出単語の音読、書き練習をする。
(ノートにエイゴラボミニの単語を1単語3回以上書き、練習する。※変化形や、例文、意味なども)
- 副教材 エイゴラボの問題に取り組む。
習った箇所の問題を解き、復習をこまめにする。
(丸付け直しを必ず行い、できた箇所と見直すべき箇所を明らかにする。)

2026年度・第1学年 音楽科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：五十嵐 冬馬

教科の到達目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、感性を磨き、音楽に親しんでいく態度を養う。
----------------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.田浦中学校の校歌を覚えよう	【知識】 ・ワークシート ・(単元テスト) 【技能】 ・歌唱テスト →音程・音量など ・器楽テスト →指使い・アンサンブルなど	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・授業への取り組み方 (楽器を正しく扱えているか・合唱への取り組む姿勢など)
		2.アルトリコーダーを吹こう			
		3.情景を思い浮かべて聴こう			
		4.混声三部合唱を楽しもう			
		5.リズムを作ろう			
		6.クラスの合唱を作ろう			
	前期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	なし	自由課題あり	自由課題あり	自由課題あり	
後期	課業期間	1.アンサンブルをしよう	【知識】 ・ワークシート ・(単元テスト) 【技能】 ・歌唱テスト →音程・音量など ・器楽テスト →指使い・アンサンブルなど	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・(単元テスト)	・単元ごとのワークシート ・課題の解決の取り組み方 ・班・グループでの取り組み方 ・授業への取り組み方 (楽器を正しく扱えているか・合唱への取り組む姿勢など)
		2.歌曲の世界			
		3.情景を想像して歌を歌おう			
		4.身近な音楽を音にしよう			
		5.低音の吹き方を工夫しよう			
		6.情景を想像して合唱しよう			
	後期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	なし	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・ 絵画と音楽の関係性について(美術)
- ・ ダンスにおけるリズムの取り方(体育)
- ・ 数字と音楽(数学)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・ 楽器の準備
- ・ 前回の復習

家庭での学習への取り組み方について

1. 音楽を聴く時間を確保する
2. 授業での学習成果を家族に披露する
3. 音楽の話を家族としてみる(家族に中学生のころ流行った曲を聞いてみる)

2026年度・第1学年 美術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：高橋 沙希

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しいものにあこがれを持ち、前向きに制作に取り組む。 ・作品や文化財を大切に育てる。 ・道具や用具を大切に扱いケガなく安全に制作する心育てる。 ・時間を守り最後までやり遂げる心育てる。 ・自分や友達の作品の良さを認め合い、他者と協力して作品を作りあげる心育てる。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	授業期間	1.スケッチ(基本形で描く)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本形から形の取り方 ・鉛筆による調子の付け方 ・陰影の取り方 ・書体の正確な形 ・画材の選択と技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・スケッチ(スケッチブック) ・本のデザインの発想(ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの完成度 ・作品の取り組み方 ・作品の完成度 ・振り返りシート
		2.私の〇〇筆箱			
		3.本のデザイン			
	前期テスト	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	授業期間	1.君はカラーコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の基本技能 ・粘土の表現技法 ・平塗り、絵の具の技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーディネーター(ワークシート) ・不思議な意思の発想 ・構図の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの完成度 ・振り返りシート ・作品の取り組み方 ・作品の完成度
		2.不思議な石			
		3.写真をとる楽しさ			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

- ・配色(家庭科)
- ・レタリング(総合的な学習の時間)

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・学習カードの記入
- ・アイデアスケッチを進める

家庭での学習への取り組み方について

- 1.生活全般を通して、身近なものの形・色彩の美しさを感じることができるよう授業で投げかけをおこなう。

2026年度・第1学年 技術科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：島田 直也

教科の到達目標	(1) 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法について理解する。 (2) 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作等ができる。 (3) 生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な技能を理解する。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.材料と加工の技術①	単元テスト 木材作品① ワークシート 工具等の使い方	木材作品① ワークシート 工具等の使い方 学習カード 作業方法・手順 レポート	単元テスト 工具等の使い方 学習カード 作業方法・手順 レポート
		2.材料と加工の技術(実習)			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	
後期	課業期間	1.材料と加工の技術②	単元テスト 木材作品② ワークシート 工具等の使い方 製作図のかき方 3DCAD	木材作品② ワークシート 工具等の使い方 学習カード 作業方法・手順 3DCAD レポート	単元テスト 工具等の使い方 学習カード 作業方法・手順 レポート
		2.課題解決に向けた製作			
		3.社会発展と材料と加工の技術			
	定期テスト(中間・期末)	実施しません	実施しません	実施しません	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

なし

授業前の取り組み(ベル学習):

・3分前には授業準備をしておく。(教材や移動教室を含む)

家庭での学習への取り組み方について

1. 学校で学んだことを保護者など人に話す(アウトプット)
2. 学校で学んだことと家庭生活とのつながりを確認する。
3. 個人端末や家のPCなどを用いてクラスルームで共有された内容を復習する。(動画・資料等)
4. 問題解決に取り組むために普段から家庭での生活に目を向ける。

2026年度・第1学年 家庭科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭：外崎 愛莉

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた手入れ、また縫い方について理解している。 ・衣服の選択、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について構想し、評価・改善・表現する。 ・よりよい生活の実現に向けて、主体的に取り組んだり振り返って実践しようとしている。 ・家族・家庭や地域における生活の中から衣生活について問題を見だし、課題を持って考え、解決しようとしている。
---------	--

学期	期間	単元計画 ※授業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	授業期間	1. 私たちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・道具等の使い方 ・衣服計画レポート ・単元テスト ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・アイロンがけレポート ・衣服計画レポート ・製作レポート ・道具等の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・道具等の使い方・手順 ・単元テスト ・授業の振り返り
		2. 布を用いた製作①			
		3. 衣服の手入れ			
		定期テスト(中間・期末)			
	夏休み	既習事項の確認	洗濯・アイロンレポート	洗濯・アイロンレポート	洗濯・アイロンレポート
後期	授業期間	1. 布を用いた製作②	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・単元テスト ・道具等の使い方 ・製作品 ・製作品の型紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・製作計画 ・製作レポート ・住生活レポート ・災害レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・授業の振り返り ・単元テスト ・道具等の使い方・手順
		2. 私たちの住生活			
		3. 災害への対策			
		定期テスト(中間・期末)			
	冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし

横断的学習(主なもの):

- ・「衣生活」TPOをふまえた自分らしい着方の工夫⇒美術「色を学ぼう」
- ・「住生活」健康で快適な室内環境⇒保健体育「室内の空気の衛生管理」
- ・「家族・家庭と地域」家庭生活と地域のかかわりを考える⇒総合的な学習の時間「私たちにできること」

授業前の取り組み(ベル学習):

- ・「衣生活」TPOをふまえた自分らしい着方の工夫⇒美術「色を学ぼう」
 - ・「住生活」健康で快適な室内環境⇒保健体育「室内の空気の衛生管理」
 - ・「家族・家庭と地域」家庭生活と地域のかかわりを考える⇒総合的な学習の時間「私たちにできること」
- 授業の道具を準備する。

家庭での学習への取り組み方について

1. 授業で学んだことを家庭及び、日常生活で実践すること。

2026年度・第1学年 保健体育科 年間指導計画及び評価計画

指導教諭： 児玉 万里絵

教科の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。
---------	---

学期	期間	単元計画 ※課業期間は学習順	各観点の評価計画		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
前期	課業期間	1.陸上競技(短距離走・リレー)	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健・体育理論ワークシート ・確認テスト(5月、7月) 【技能】 ・短距離走の一連の流れ ・バトンの受け渡し ・クロールの手と足の動き、呼吸のバランス ・マット運動の基本的な動き	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・確認テスト(5月、7月)	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・健康、安全の留意 の仕方
		2.水泳			
		3.器械運動(マット運動)			
		4.保健			
		5.体育理論			
	定期テスト(期末)	実施なし	実施なし	実施なし	
	夏休み	既習事項の確認	なし	なし	なし
後期	課業期間	1.ハンドボール	【知識】 ・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・確認テスト(10月、12月、2月) 【技能】 ・ボール操作と空間に走り込むなどの動き、ゴール前での攻防 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備 ・相手の動きに応じた基本動作や基本技、投げたり抑えたりなどの簡易的な攻防 ・音楽に合わせた特徴的なステップや動き	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・確認テスト(10月、12月、2月)	・学習カードの記載内容 ・保健ワークシート ・課題解決のための 取り組み方 ・班やグループでの 話し合い方 ・健康、安全の留意 の仕方
		2.ダンス			
		3.柔道			
		4.ソフトボール			
		5.保健			
	体育理論				
	定期テスト(期末)	実施なし	実施なし	実施なし	
冬休み	既習事項の確認	なし	なし	なし	

横断的学習(主なもの):

社会:公衆衛生 理科:呼吸器・循環器
 家庭科:食事 道徳:フェアプレー

授業前の取り組み(ベル学習):

整列・準備運動

家庭での学習への取り組み方について

- 1.生活リズムを整える(食事、運動、睡眠・休養の長が取れた生活)
- 2.適度な運動習慣をつける